

# DSAM第3回災害支援鍼灸マッサージ師合同育成講習会

## 被災地での症状出現、7割が災害に起因

「DSAM第3回災害支援鍼灸マッサージ師合同育成講習会」が昨年12月13日、オンラインで開催された。

『大規模災害におけるAMD A災害鍼灸活動について』をテーマに今井賢治氏

(特定非営利活動法人AMD

DA災害鍼灸ネットワーク

代表世話人・帝京平成大学

ヒューマンケア学部鍼灸学

科)が登壇した。東日本大

震災や熊本地震、西日本豪

雨などの被災地においてA

MDAが行ってきた鍼灸活

動について概説。回を重ね

るごとに派遣者数を増やす

るとともに、東日本大震災

では発災から約20日後、熊

本地震では約10日後、西日

本豪雨では4日後と、開始

時期を早めてきたことなど

にも触れた。令和元年の台

風19号の際は宮城県丸森

町・丸森小学校の避難所で

活動。鍼灸治療の対象と

なったのは「頸肩部痛(肩

こり)」「33・3%、次いで

「腰痛」22・7%、「上肢

痛」10・6%などとなつて

おり、「不眠」や「頭痛」

といった愁訴も見受けられ

たとした。鍼灸治療を受け

た被災者のうち71・4%が

災害によって症状が出現あ

るいは増悪していたと説明

し、避難所生活や自宅等の

後片付けなどに起因するも

のであると報告。他の災害

ボランティアや医療派遣者

等、支援者への鍼灸治療も

行っており、丸森町での治



### 大規模災害におけるAMD A災害鍼灸活動について

帝京平成大学 ヒューマンケア学部 鍼灸学科  
認定特定非営利活動法人AMD A災害鍼灸ネットワーク

今井賢治

▶今井賢治氏の講演

療回数(延べ)は避難者97回、役場の職員28回、支援者20回の計145に上つたと述べた。また今井氏は、災害現場では既往歴が分からず感染症の可能性もある

## 鍼灸師、急性期の心的ケアも

AMD A理事で東亜大学

医療学部教授の佐藤拓史医

師は、被災者の心的外傷に

は急性期のASDと慢性期

のPTSDがあり、鍼灸

マッサージ師もASDに対

する心的ケアから介入でき

ると指摘。また、熊本地震

及び熊本豪雨による災害関

連死の事例を挙げ、「本来

なら救えた命かもしれない

が、医師だけでは困難」と

述べ、鍼灸師マッサージ師

も含めた多職種との連携の

重要性を改めて説いた。

不特定多数の避難者及び関係者に施術するため、鍼は単回使用であるのはもちろんのこと、鍼刺し事故にも嚴重に注意するよう呼びかけた。

AMD Aプロジェクトオ

フィサーの神倉裕太郎氏

が、被災地における活動内

容の決定や物資・宿泊施

.....

設・人員の確保、活動の記録・報告など「調整員」の多岐にわたる業務を紹介。調整員として被災地に入り状況に応じて専門職として活動することもできるとして、鍼灸師の調整員としての参加も要望した。

このほかに、DSAM活

動報告『令和元年台風19号

災害に対する支援活動』4

題、シンポジウムが行われ

た。